

＜ 3 班 ＞ 脱炭素社会の構築

課題	だれが	なにをする	備考
①情報発信（クルポ以外）			
（無記）	県	私のような老人はスマホを使いこなせない。スマホやパソコンを持っていない人も私の周囲にはたくさんいます。ですから紙媒体（例として県民公報、市町村政公報等）利用を軽視しない方が良いと思います。	
県施策の情報が集約されたサイト・ちらしがない	県	情報が集約されたサイトをつくる。 ワンペーパーにまとめる。	高齢者向けにペーパーも作成する。
県施策の情報が集約されたサイト・ちらしがない	市町村	そのページを連携、または広報掲載	
（取組）目的に対するターゲットの明確化	県	どのようにターゲットを決めて、市町村と連携できるか？	ターゲット（年代、性別の深掘り）
（取組）目的に対するターゲットの明確化	市町村	ターゲットに対して合わせた取組を利用できる体制を作る。	市等との連携できるかどうかが重要
若者と高齢者への周知	県	高齢者→紙、新聞広告 若者→SNS徹底	年齢の差で認識の仕方異なる
若者と高齢者への周知	市町村 地自治体	回覧板に入れる	高齢者へ向けては紙が一番効果的
家庭でのCO2削減の方策	県	県民日よりや広報での家庭方策を周知化する	GX政策を詳しく検討して対応を広める
県の取組を知らない人が多い、浸透していない	地球温暖化防止活動センター 市町村	もっと効果的な普及啓発活動をして欲しい	高齢者を置き去りにしない
県の取組を知らない人が多い、浸透していない	民間企業	もっと効果的な普及啓発活動をして欲しい	企業への普及に協力をあおぐ
県民の意識向上、周知	県	Instagram、Xなどに広告をあげる	アカウントを持っているだけでは人々に浸透しない。 広告で差別化 俗的でもよい！実際に行っている地方公共団体もある。
県民の意識向上、周知	県	活動をまとめたポスターやサイトを製作	お年寄りにはわかりやすいコンテンツを用意した方がよい。 1つにまとめるなどの世代でもアクセスしやすい。
②クルポの情報発信			
（無記）	県	「クルポ」がそもそも何かについて、私の年齢の交友関係者間では知らない。私自身も全く知らなかった。広報、宣伝に本腰入れなければ広がらないと思います。	
クルポの啓発	県	テレビ、ラジオ、SNSで主旨と利点をPR（どんなメリットがあるか）	啓発されていないのでPRをするべきでこの主旨の理解が必要
クルポの啓発	市	市の広報で広める	市への関心が庶民が一番ある
クルポの啓発	国	テレビ、ラジオで広める	地球温暖化は地球全体の問題だから。
クルポ利用者向上、周知	県民、個人	周囲にすすめる、口コミ うちエコ診断活用	意識改革 市民運動
クルポ利用率向上と利活用促進	県	クルポのPRとともにクルポの活用方法の講座・イベントなど開催	クルポと脱炭素アクションが結びついていない。 成果の見える化
クルポ利用率向上と利活用促進	市町村	イベントの場など提供 各市町のLINE等を使ってPR(各市町のスポット紹介)	
クルポの取組一幅広い周知	県 センター	SNS TVCM 折り込みチラシ 回覧板など世代に合わせた周知活動を行う	結局いまいち意識付けが必要な世代に対してダイレクトに伝達し 認知される仕組みである必要あり。
クルポ浸透のターゲット選定	県 センター	カーボンニュートラル2050年達成に向けてボトルネックとなっているものは何か特定し、対応する ↓ 一番省エネすべき世代、世帯に対して意識付けを行う ↓ 行動を起こす	家庭において一番電気を使っている家電の省エネ家電買替の促進 や補助金支給など、支援策も必要。
クルポのポイント活用方法、広告	センター、県	TikTokやインスタで宣伝。ゆるキャラや職員が踊るなどして話題性を生み、アピール	若者はユーチューブよりインスタ。わざわざ県庁について検索することがないから、インスタで強制的に流す一電車広告を減らして費用をSNSに使う。
クルポのポイント活用方法、広告	県？学校	講座をただするだけでなく、クルポを実際に入れて探検のように学外学習をする	使ってみないと動かない、行動しないと思うし、座学だと興味が湧かない
CO2の削減	県	公共交通機関の促進 (クルポ利用地域増やす) 地域格差をなくす	静岡など都市部でクルポなどを使いバスの利用などを促している。しかし、過疎化している所にこそクルポを導入してバスの利用など呼びかけるべき。
クルポの周知	県	インスタ SNSの利用で周知	若い人にアプローチ
クルポの周知	個人	口コミで知らせる	アプリの利便性と飽きさせない工夫
クルポの周知	自治会	老人会等で話題にする	老人にも環境教育をする
クルポの活用について	県	広告作成 SNS・紙等	より多くの企業の協賛をえる
クルポの活用について	企業	広告を配布 HPにクルポのパナー	
クルポの活用について	県	高齢者向けのマニュアルを作る	講座を開催
クルポの周知	県	アピール増強	
家庭でのCO2削減の方策	クルポ	知らない！ 知らせていない！ この要因を急ぎ改善すべき	
県の取組を知らない人が多い、浸透していない	県	もっと効果的な普及啓発活動をして欲しい	クルポの認知度低い、わかり易い資料作成
（無記）	企業	電気料金表にクルポのバーコードを掲載する。	クルポの周知

③クルボの機能改善				
	クルボ利用者向上、周知	県	インセンティブの改善 抽選だけでなく...	ポイントを貯めると必ずもらえる 地域へ還元
	クルボ利用者向上、周知	企業	・電力会社、ガス会社と連携、明細書にクルボ、うちエコ診断の広告、QRコード ・各企業、排出量の算定	家庭部門のほとんどを電気が占める
	クルボ利用率向上と利活用促進	センター (実行委員会)	利用者の声を聞く、活かす	
	クルボのポイント付与	県 センター	現行のポイント制度(抽選)見直し ↓ 金券等ではなく地域やエコに役立つものがベター	良い取り組みであるため、長く続く仕組みであって欲しい。
	クルボのポイント活用方法、広告	県	県内の店舗でポイント使えるようにする。	抽選だと当たらないことでやる気なくしてしまう
	クルボ	県	アプリ、周知、インセンティブの改善 期待効果の数値化	一度県職員内で使用についてアンケートやってみたら
	クルボ	自分	現状インストールする気にもなれない	
	クルボの改善について	推進センター	クルボスポットを増やす	スポットを確認しましたが利用している店舗はありませんでした。スポットの増加が利用の増加につながると思います。ただ、スポットでスマホを出して読み取るという行動を促すインセンティブは足りないかと。個人的には面倒で少し忘れやすい。スポットのある場所でスマホに通知が来る機能はあるのでしょうか。なければぜひ。
④環境教育				
	環境教育	県	学校現場にパンフを送る	教育現場が長期的スパンで継続、発展しやすい。
	環境教育	国	学校指導要領改訂	地球の課題です。国が教育を変えていける組織です。
	小学校や中学校などへの呼びかけ	県	県立高校へ環境プロジェクトの提案	高校生は行動しやすく、意見をまとめる力があるため、発表会など作るといいと思った。
	小学校や中学校などへの呼びかけ	教育委員会、学校	夏休みに環境への取り組み課題を出す	小さい時からの行動定着
	教育	県	教育の更なる低年令化	
	教育	市	具体策の立案	
	環境学習の充実	県	学校教育で使用する資料を作成する。	同じ方向性の資料を使うことで、地球温暖化について意識できる。
	環境学習の充実	学校	環境教育を行うだけでなく、継続的に活動できCO2削減が目に見えてわかるようにする。	学んだことを実践、継続して行うことで1人1人の意識改革につながると思われる為。
	環境学習の充実	家庭	子どもが学校での活動をもとに家庭でもCO2削減について考え・行動する	
⑤県民の環境意識の向上				
	川の水をきれいにし魚が住めるようにしたい	県	汚水を流さないこと	
	目標に向かい県民一丸となって取り組むことが必要		県は原則的に難しいため活動推進センター（中立的立場）が中心となり一定の方向性を出すことが重要である	
	教育	自分	ゴミ集積場の清掃の参加	
	CO2排出削減のための電気使用料削減について	県	高所得者層へ経済的な得だけでなく、エシカル消費の観点での働きかけを	高所得者層は電気代が高くても払ってしまうので無関心になりがち。エシカル消費も貧困層には取り組みにくいので、できる層へ働きかけたら良いと思います
	市民への周知、行動ができるようにするには。	県	広告だけでなく、学校・企業に取り組むような働きかけをする。	
⑥再生可能エネルギーの活用促進				
	火力発電を早く再生可能エネルギーに変えること	県	温暖化ガス排出実算ゼロにすること	昔のような青い空がない
	再生可能エネルギーの導入	県	太陽光温水器の促進	発電より初期費用がかからずに温水にできる
	再生可能エネルギーの導入	個人	温水器を屋根に乗せる	老人はシャワー等使わないので、風呂にガス使用で少なくなる
	太陽光パネルの設置	県	補助金を出す 電気の買取価格の優遇措置	
	太陽光パネルの設置	個人	自宅にパネルを設置	
その他				
	エネルギーについて	(無記)	街中の自動販売機を撤去する。→無駄な電気を容器としてのプラスチック、アルミ、スチール缶の生産、使用を減らす。「脱プラ運動」の一環として、大量生産～大量廃棄の社会を変える一歩として。	
	エネルギーについて	(無記)	自転車で安全に走行できる道路網の構築→その為にはせめて市街中心地の電柱を撤去する。→オランダ、ベルギーは自転車王国。模範とするモデルは存在するのです。やる気があるかどうかの問題です。地方自治体独自では無理な事業 困難、不可能	
	県の取組を知らない人が多い・浸透していない	県	化粧品や美容品を作る 会社と連携して環境に良い商品を開発する	化粧品や美容品は付加価値が買う理由になるため、それを環境の観点から考える。
	県の取組を知らない人が多い・浸透していない	化粧品、美容品 企業	連携することでPRにもなる。商品開発、販売	地域の企業と。

高齢者が置き去りにされている	県	製薬会社等、高齢者向け健康製品企業、医者や薬剤師と連携、開発する	環境に良い商品を開発 選んでもらう理由にする。
高齢者が置き去りにされている	医者、薬剤師	口頭ですすめる、病院に周知用ポスターをはってもらう？	パートナーシップや周知になる。
高齢者が置き去りにされている	健康品企業	製品を開発する	
高齢者が置き去りにされている	県	高齢者が運動になる、かつ環境に良い活動ができるコミュニティの作成、場所の提供	活動一苗を植える等。高齢者は土いじりが好きな人が多い。高齢者の居場所になる、仲間意識上がる 場所→このコミュニティでロコミとかあれば良いと思う
高齢者が置き去りにされている	地方自治体	コミュニティのことを回覧板でまわす	
CO2の削減	県	グリーンカーテン設置した家に補助金出す	グリーンカーテンで5℃も変わることを聞いて実施されるべきだ と思った
ゴミ分別、削減	県	リサイクルステーションを増やす	町中で歩いて行けるステーションがない
施策レビューの人選について	静岡県	ランダムプラス老人会やエリア、業界など代表者も出席する	広い意見が得られる、ネットより責任を持った意見
省エネ	老人会	年配者のエアコン使用をレクチャーする	使い方がこわい(使わない、勿体ないのでつけない)
(無記)	県	意見に對してできない理由だけ これならできるといった前向きなことがなかった	検討するしないの回答でもほしい
公共交通機関の活用	県	利用者に補助金を出す	
公共交通機関の活用	県	環境にやさしい自動車の導入	
ゴミ処理	県 地方自治体	各々の畑や河川敷にて自由にゴミを焼却出来るようにする。(常に水も用意して火の用心)	CO2削減に逆行するがプラゴミ等の処理が必要だと思う
家庭でのCO2削減の方策	ゴミ削減	分別化を静岡市も展開を始める	
車社会にあって、電気自動車の推進	県	公用車の電気自動車を進めるのは容易では	
車社会にあって、電気自動車の推進	資金	税金の有効化でガソリン削減になる	
車社会にあって、電気自動車の推進	個人	車の更新に際してEV車を求める	
電気自動車の求め易さ	県	自動車メーカーに対するコストダウンを追求する	
電気自動車の求め易さ	車メーカー	トヨタはEVだけでなくハイブリッド車を進めている	
電気自動車の求め易さ		トヨタもスズキも県内企業であり、カーボンニュートラルの排出ゼロを進める	
ゴミ分別	県	クルボ以外でのインセンティブがある施策の立案	インセンティブ無しで当たり前と思う様に。
ゴミ分別	自分	既に行っていて別段新たなアイデアは持っていない	
関係者だけで事業が構築、運営されている	推進センター	企業として広告が出せる以外のかかわりがいい取組を提案する。	仕組みとして素晴らしいという自画自賛がありましたが、そう 思っていたら意見は出ないと思います。 企業のCSRを引き出す取組、働きかけを進めてほしいです。
県民の意識向上、周知	地方団体？ 市とか町とか	ゴミの分別事業の一本化 リサイクルの推進	身近な問題から環境問題への意識を少しでも向上させると同時に ゴミ焼却にかかるエネルギーなど環境負担を減らす
(無記)	県	CO2減少量の見える化	1人1人がした活動の成果が見える化することで、意欲の向上を図 る
CO2の見える化	県	ゴミ分別により削減されたCO2の量についてわかるようにする。	